

【A】都市経済部長 自転車は免許がいらず、年齢を問わず多くの人に利用されるとともに、健康や環境面からも大切な交通手段である。道路交通法上は軽車両と位置付けられ、歩道と車道の区別がある道路では車道の左端を通行しなければならないが、

上のような位置付けにあるのか。また、道路は自転車も走るため、その設計は弱者である自転車のことを考慮してほしい。市は市道のみを管理すればいいのではなく、本市を走るすべての道路にかかわり、国や県に対して意見するべきだが、既存の道路における自転車走行の安全確保について、どのような方針なのか。



サイクリングは健康にも最適（土器川自転車道）

歩行者の妨げにならない状況では歩道を通行することができ。また、以前は渋滞対策として車優先の道づくりだったが、現在は歩行者、自転車の対策も考慮した道路整備をしており、路面より一段高くでこぼのある古いタイプの歩道は相当改良してきた。国道や県道を問わず安全な通行に支障となる箇所につ

いては、各管理者に適切に対応するよう連絡しており、今後もより一層の連携を図りたい。

### 保育所問題 地域で協議の場を

【B】加藤議員 保育所の民営化や統合において重要なのは、保護者や住民の理解、情報の公開、市の説明責任だが、次のことを伺いたい。①保護者との意見交換やコミュニティ組織等への説明など、今後地元との協議の場を設ける考えは②保育所の統合、民営化と小学校の統合問題は、子どもにとって何がいいかを地域全体で考えなければならない二つの問題であり、一体で検討

すべきだが、市の見解と市内部の連携体制はどうなっているのか③統合問題は、それぞれの地域にとって大事な問題であり、すべての地域を一括して決める問題ではない。地域ごとに学校関係者、保護者、住民、有識者などで構成する協議会をつくり、意見を求める考えは。

【A】健康福祉部長 ①すべての保育所での保護者説明会を6月中に行うとともに、統廃合や民営化の対象としてさらに協議が必要な保育所では、7月から個別に協議の場を考えている。またコミュニティから協議の申し出があれば、同様に対応したい。

【A】教育長 ②教育委員会で学校の適正規模、適正配置の基本



あれっ、何をみつけたのかな

【A】多田議員 ①丸亀・広島間を運行する備讃フェリーの耐用年数が間近に迫っており、腐食が進んでいるが、新造船計画はどうなっているのか②小手島では現在、2世帯2名の幼児がいるが、保育所がなく困っている。広島に開設するとすると、気象条件に左右されるフェリーで通所しなければならないため、小手島小学校の空き教室を活用して対応できないか③手島自然教育センターは以前は学校教育に利用されていたが、今ではほ

### 離島振興 市の方針と対応は

方針を決定した後、保育所担当課と連絡調整しながら、二つの問題を関連付けて議論していきたい③学校が学習の場だけでなく、地域交流の場、災害時の避難場所となることから、この問題は地域の人にも様々な影響を与える。今後、地域に十分な説明を行い、意見を聞き、時間をかけて対処していきたい。



船は島民にとって大切な足です

【A】生活環境部長 ①船の安全利用や島の活性化の観点から、今後の活用をどう考えているのか。

【A】生活環境部長 ①船の安全運行の観点から早期に今後の対応策を決定しなければならず、国や県と協議し、船の規模や建造費調達方法等の指導を受けるとともに、島しょ部の住民の意見を聞き、新船建造に向けた案件整備に努めたい。

【A】健康福祉部長 ②休園している広島保育所の再開を検討したが、施設面や利便性の問題から難しく、小手島内で家庭保育福祉員を確保し保育を提供することにした。今後保育専用の部屋と給食の見通しが立てば、保

護者と具体的な話を進めたい。  
**▲教育部長** ③センターは現在、小グループの宿泊研修などに利用されているが、今年度から主に子ども会のキャンプや自然学習などによる利用拡大を図る。その利用状況も勘案し、今後の施設のあり方を検討したい。

## 君が代斉唱 教育長の見解は

**◎小野議員** 入学式の国歌「君が代」斉唱時に校長の職務命令に従わなかったとして、香川県教育委員会が丸亀市立中学校の男性教諭を戒告処分にしたが、学習指導要領では君が代斉唱に関してどのように定めているのか。

この教諭のように、個人の思想信条で、国旗の日の丸や国歌の君が代を認めないという考えをやめさせることはできないが、その場合、公立学校の先生は続けるべきではないと考える。公務員としての地位が保障され、税金から給料をもらいながら、その地位に伴う責務を果たさなければおかしい。学校の先生として学習指導要領を順守するのは当然であり、重大な責務だが、教育長はどのように考えている

のか。

**▲教育長** 平成20年3月に告示された小・中学校の学習指導要領では、入学式や卒業式などでは、その意義を踏まえ国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導するものと明記されている。

当然、教育公務員は学習指導要領や上司の職務命令を順守し、子どもや保護者、地域の人の模範となる言動に努めることが強く求められていると考えている。また、教育委員会としても教職員の人間性や指導力の向上に努めている。

## 城辰・郡家小学校の敷地拡張について

**◎松永議員** 城辰・郡家小学校は、児童数の増加に伴い、校舎の増築が進められたが、敷地面積は狭く、運動会や体育の授業などで児童が不自由な思いをしている。その状況を受け、本市は、平成20年度に城辰小学校と郡家小学校の敷地拡張の土地を確保したが、その土地の管理状況はどうなっているのか。水路などの問題はないのか。また、この二つの小学校の今後の拡張計画について、具体的に示



狭い運動場でも元気に遊んでいます

は敷地造成の設計費を予算に計上している。土地利用計画についても関係部署と協議し、所期の目的に沿った造成工事の設計を行い、次年度以降、造成工事を行う予定である。その際には地元関係者とも十分協議し、学校施設全体として最大限活用できるように進めていく。

## 非正規職員の雇用について

**▲教育部長** 城辰小学校と郡家小学校は、運動場面積が他校に比べ狭小であり、学校行事に支障を来していた。また、体育館も児童数を考慮すると狭く、老朽化が進んでいることから改築を計画し、学校用地拡張のため、平成20年度に、合わせて約9600平方メートルの周辺用地を購入した。その後の土地の管理状況だが、雑草などで苦情がないよう、除草も行っている。水路についても現在のところ問題はない。今後も引き続き注意深く管理していく。今後の整備計画だが、今年度

**◎藤田議員** 本市の非正規職員について、次のことを伺いたい。①雇用の法的根拠及び職種と人数は②一般職の臨時職員等の勤務条件に関する規程第2条第2号中、正規職員に比べて相当短い勤務時間とは何割以下か③非正規職員の賃金は、正規職員の給料とどの程度をもって均衡と解釈しているのか。  
**▲総務部長** 本市の非正規職員については、一般職員の臨時職員等の勤務条件に関する規程

に基づき、第2条第1号に規定する臨時職員、または同条第2号に規定する非常勤職員として雇用している。本年4月では、育児休業の代替等の臨時職員が18人で、非常勤職員は、保育所203人、幼稚園74人、学校給食センター41人、小・中学校62人など、600人程度である②一般事務の場合などは正規職員の勤務時間の7割程度だが、人員確保が難しい保育士などは正規職員に近い勤務時間となっている③本市の非正規職員の賃金を設定する際には、正規職員の給料表を使用し、基本となる一般事務については、高校卒の初任給を基準として設定している。人員の確保等が難しい



市役所は市民サービス第一です

職種などは近隣他市等の単価も参考に加算している。今後も、非正規職員の賃金等の勤務条件については、他市の状況等も参考にしていきたい。

## 国保制度の改善 市の見解は

〔尾崎議員〕 国民健康保険制度について、次のことを伺いたい。①一般財源の繰り入れを増やし、国保税を値上げすることではなく、払える額に抑えることが市の政策として必要と考えるが、見解を伺いたい②短期被保険者証を交付されている世帯が、期間が過ぎて無保険状態にならないように、対策やフォローはきちんとできているのか。

〔生活環境部長〕 ①運営が厳しい国民健康保険特別会計に対しては、保険基盤安定事業や国保安定化支援事業に係る経費などを一般会計より繰り出しているが、ルール分以上の額を繰り出すことは、現状では困難である。財政悪化が進む本制度については、広域化など、抜本的な国への制度改正の要望も必要であると考えている②短期被保険者証の交付は、納付の指導機会を増やすことで収納率の向上を図

り、国保事業の健全な運営と被保険者間の負担の公平に資するため実施している。短期被保険者証は、滞納者指導要領に基づき、対象者に毎年4月1日から4月30日までの期間の被保険者証として交付し、5月1日以降の有効期限は納付相談、納付指導の内容により、6か月以内で延長して再交付している。短期被保険者証の交付世帯には、5月に長期保険証への切り替え通知文書を送付し、その後も、収納員が訪問し、納税相談、接触を図り、無保険状態にならないよう配慮している。

## 救急医療体制の 整備について

〔倉本議員〕 市長の言う救急医療体制の確立について、次のことを伺いたい。①整備の範囲について②診療科目について③第5次香川県保健医療計画との整合性について④整備の進捗状況及び今後の進め方の手順について。

〔教育部長〕 ①2次救急医療を担う2次保健医療圏である中讃保健医療圏の3市5町で検討すべきと考える②高齢化の進行、脳卒中や循環器系の患者による

救急医療の需要増加などを考えると、外科、内科、小児科など幅広い機能を持つ救急医療の確保が重要である③本計画が示す現状、課題、対策については、初期救急医療や病院群輪番制の充実など、中讃保健医療圏の救急医療体制の維持、充実の取り組みと整合性のとれたものである④毎年、丸亀市医師会を中心にした地域医療担当医師等運営協議会で、地域医療、特に救急医療の現状の改善策を協議しており、引き続き具体的方策を検討したい。当面は県の指導を受けながら、医療圏内の市、町での協議、医師会を交えた協議などを順次行い、その過程で

合意が得られ、条件が整えば、審議会や協議会の設立を検討したい。さらに、中讃保健医療圏の3市5町で救急医療の現状と今後の課題を継続的に協議し、国・県に対し、救急医療体制の整備について強く要望していきたい。

## 丸亀お城まつり 日程等の見直しは

〔福部議員〕 お城まつりは今年もゴールデンウィーク中の開催だったが、参加団体数が日程変更前と比べ激減していると実感した。今年の一般参加者数及び総おどりの参加団体数は日程変更前と比べてどうか。日程の見直しを再検討する必要があると思うが、見解を伺いたい。また、駐車場が分かりづらい、車を止めにくいなどの意見もある。まつり専用の駐車場マップを作成するとともに、競艇場の駐車場をまつりの駐車場とし、シャトルバスでピストン輸送し

てはどうか。

〔市長〕 日程変更前の5年前は天候も影響し、一般参加者は13万5千人、総おどりの参加は17団体、約1600人で、今年の一般参加者は23万人、総おどりの参加は12団体、680人だった。総おどりは減少しているが、フリースタイルは、5年前の15団体に対し、本年は24団体と増加している。お城まつりの日程は平成17年からゴールデンウィークに変更したが、天候に恵まれ盛大に行うことができています。参加しづらいの意見もあるが、団体などの意向を伺い、イベントスケジュールの見直しなど、多くの人が参加しやすくなるよう企画したい。競艇場駐車場の利用は、



中讃地域の医療を担う「香川労災病院」



時代絵巻の行列でパレードする児童



本場開催中で難しいが、総合運  
動公園を駐車場として利用する  
ことも検討したい。なお、駐車  
場案内はお城まつりパンフレッ  
トやチラシに掲載しているが、  
市内外の人にわかりやすい内容  
になるよう努めていきたい。

## 島民が安全安心に 暮らすために

■岡田議員 島民が安全で安  
心して定住できる課題について、  
次のことを伺いたい。①海上航  
行と島民の負担軽減策の方策に  
ついて②離島間の船の往来可能  
な仕組みづくりについて③島内  
の高齢者、障害者への支援制度



伝統的建造物群保存地区の街並み（笠島）

該当する高齢者  
や高齢障害者が  
通所サービスや  
短期入所サービ  
スを利用した場  
合や、介護保険  
の対象とならな  
い高齢者がデイ  
サービスを利用  
した場合は、一  
部航路費の助成  
を行っている。  
また、障害者支  
援のホームヘル  
プサービスなど

について④離島振興計画におけ  
る県の責任などについて。

■生活環境部長 ①住民や輸  
送業者から、早急に丸亀・広島  
間を運航するフェリーの新船を  
建造してほしいとの要請があり、  
丸亀離島振興協議会において、  
新船建造推進協議会を立ち上げ、  
新船建造に向けた協力体制を構  
築している。本市も、新船建造  
に向け、国の航路改善協議会を  
早期に開催するよう要請し、島  
民の期待にこたえていきたい②  
離島間の往来について、どの程  
度需要があるか、いくら費用が  
必要か、国の補正予算を含めた  
補助制度の活用などについて調  
査したい③市では、介護保険に

を行う事業所には特別加算を行  
い、離島などへの事業展開を行  
いやすくしている④地元住民や、  
県内の離島を抱える自治体で組  
織する香川県離島振興協議会と  
も連携して、県に対し、具体的  
な要請を行っていく。

## ペアーレ丸亀 取得断念の理由は

■国方議員 ペアーレ丸亀に  
ついては、施設の存続を求め、  
市に取得するよう多くの市民か  
ら要請があった。市としても、  
健康生きがい中核施設として生  
涯学習にも利用できるため取得  
したいとの考えだったが、なぜ  
施設の入手を断念したのか。

■市長 ペアーレ丸亀売却の  
情報が入った際に、健康福祉部  
から、トレーニングルームや温  
水プールなどを備える同施設を  
健康増進、生活習慣病予防、介  
護予防のための運動施設として  
活用したいとの意見があった。  
そこで、中讃圏域2市3町で平  
成21年度から始める健康生き  
がい中核事業を併せてペアーレ  
丸亀で実施するため、取得の検  
討を始めた。健康生きがい中核  
事業が県の補助事業であること  
から、同施設の土地、建物の取

得を補助対象  
にするよう県  
に要望した  
が、土地取得  
は補助対象に  
ならず、建物  
も用途や補助  
対象部分が制  
約されるとの  
見解が示され  
た。また、同  
施設の入札に  
関する情報も  
集めていた  
が、取得費用  
として2億円程度必要で、年間  
の維持管理費が人件費を省い  
ても3000万円以上かかり、  
近い将来、多額の修繕費が必要  
で、厳しい財政状況、維持管理  
費などを勘案し、市長としての  
判断でペアーレ丸亀の取得を断  
念した。

## 食育の推進 現状と計画は

■松浦議員 学校での食育の  
役割は大変重要だと考えるが、  
次のことを伺いたい。①学校で  
の食育推進体制はどのようにな  
されているか②食育の推進には、  
保護者や地域住民との協力が欠



給食って、みんなで食べるからおいしいんだね

かせないと考えるがどうか③全  
体計画や各学年の目標、給食指  
導などの計画はどんな状況か④  
栄養教諭の各学校の配置状況は  
どうなっているか⑤炊きたての  
ご飯が提供できる家庭用炊飯器  
を導入できるような国において事  
業が計画されているが、教育委  
員会としてどう考えるのか。  
■教育長 ①どの小・中学校  
においても食育担当教員あるい  
は給食主任を中心として学級担  
任と連携しながら食育の指導を  
進めている②授業参観日に食育  
の授業を公開したり、子どもに  
一週間の食事調べをさせたりす  
ることで保護者の啓発を行い、  
連携を図る取り組みを進めてい